

交通分野

資料2

【実施済・進行中】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等	宿泊税の活用
宿泊税により、観光客の周遊バス利用料が100円になったのは、利用者も身近に実感でき、実際に利用した観光客も気づいてくれた。	<u>ニセコ周遊バスの値下げ（500円→100円）による、にこっとバスとの接続分け等の実施</u> <u><実績></u> <u>便数：684便（+122便、122%）</u> <u>町民バス登録数：495人（+137人、138%）</u> <u>利用者数：12,343人（+5,286人、175%）うち町民：2,811人（+1,470人、210%）</u>	○
スカイバスのように観光地を巡る交通手段を増やしてほしい。	<u>ニセコ周遊バスの夏季実証運行の実施（1日3便。土日祝日の11日間）</u>	○
昨冬のニセコモデルによりかなり改善されたと感じている。インバウンド客の携帯でうまく認証ができず、代わりに手配したことが数件あったが、個人で手配できるので事業者側の負担も少なかった。	<u>ニセコモデルの強化</u> <u><実績></u> <u>ドライバー数：45台（+20名）</u> <u>台数：20台（+9台）</u> <u>配車：約5.5万件（約3倍）</u> <u>マッチング率：約86%（+19ポイント）</u> <u>地元利用：約1,000件</u>	○
カーシェアが冬にも継続されるのであれば、宿泊客にも活用されると思う。	<u>カーシェアの通年化の実施</u> <u><今和6年度実績></u> <u>期間 4月16日～3月31日</u> <u>設置場所 JRニセコ駅駐車場、町民センター駐車場</u> <u>4月～9月各2台、10月～3月各1台</u> <u>利用実績 ニセコ駅212件、町民センター264件 ※利用者アンケート実施</u>	○
モイワエリアへの冬季間アクセスがあまりよくないことが課題。冬季間のバス運行ルートで滑る箇所への除雪や砂設置などを希望。	<u>モイワアンヌプリ間、東山水源地付近の冬季除雪の実施。</u> <u>登山道や一号線の砂撒きの拡充。</u>	○
・にこっとバスについて、需要がひっ迫し、住民利用ができないケースも多々あると聞くので、住民利用が損なわれないことを前提として、観光客が利用できるようにすべき。乗り合いシステムについても検討するといいのではないか。	<u>にこっとバスの乗り合いシステムの見直し（AIによる予約配車システムの導入）</u>	—

【役場・観光協会で今後検討】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等
雪道で車がスタックすると、移動に支障が生じるので、ロードヒーティングの充実をお願いしたい。	
故の多い箇所にロードヒーティングや信号を設けてほしい（お好み焼きじゅうさんの前は、冬季の事故がとても多いです）	
ニセコビレッジ敷地内にロードヒーティングの設置を。ニセコビレッジ敷地内に入ってすぐの坂道で毎年何度もバス、トラックがスタックします。バスがスタックすると通行が出来なくなり、リゾートに入ってくるお客様、スタッフ、また、リゾートから出る人が出れなくなり足止めになるケースが出ます。路線バス、リゾートライナーの通り道になっており、ニセコビレッジ前後の交通にも支障が出ております。スムーズな交通を実現するための一つとしてリゾートの敷地内になりますが、ロードヒーティングの設置を希望いたします。	<u>今後道路部門と実現にむけた検討を進めていく。</u> <u>※道路は町道か否かで対応の可否も変わる</u>
リゾートエリアのロードヒーティングを充実させてほしい。	
ガードレールの増設や事故多発地点での「スピード落とせ」等の標識の増設。	
スキーシーズンのアンヌプリスキー場↔ボテ共和国・昆布温泉・アンヌプリ温泉地区の無料シャトルの運行 (各宿が送迎車を運行しているのもあり、人手不足などで今後は運行出来るかもわからぬ。また、一番の問題はヌックアンヌプリのピーク時間帯の渋滞や混雑の緩和に繋がる)	
フォレストアベニュー地区では公共交通機関が来ていないため、各宿泊施設で無料送迎を行う状況のため、巡回バスなどが運用されるとありがたい。	<u>宿泊事業者同士が連携して送迎をする場合の支援について検討。</u> <u>※単独の送迎についても検討。</u>
各ホテルでは少なからず自社で送迎していると思われるため、バス等の改善がすぐに難しいのであれば、事業者に対して送迎車の購入費やガソリン代を補助してはどうか。	
カーシェアについて、いつタイムズ社が自立運行するのか。また、大きな車種に変更できないか。（プライベートで使用しようとしたが、大人数が乗れる車の手配が難しいので、大きめの車があると便利でうれしい。）	<u>車種の変更について、タイムズ社と調整予定。</u> <u>※タイムズ社の判断による</u>
自動運転のモデル地区として、その事業に宿泊税を使うのは良いかもしれない。小樽市で実証実験をやっているように、ニセコ町でもできないか。	<u>中長期的に検討を進めていく。</u>
バス停が夕方以降だと暗くて見づらいので非常に危険であり、草も多くて利用しにくい。（タージマホール周辺の道道沿い）	
公共交通機関の便数が少なかったり、表示が分かりにくく、インバウンドが宿泊先まで行くのに苦戦している。	<u>ニセコバスとも相談し、表示の充実等を検討中。</u>

【現時点ですぐの実現が難しい（事業者の協力、関係各所との調整が必要）】

いただいたご意見	ポイント
利用者目線でいえば、タクシーが一番使い勝手がいいので、タクシー増台が最優先ではないか。	
空港や札幌からの夏のアクセスに課題があるので、なかなか入込に繋がらないのではないか。	
デマンドバス増便。デマンドバスが難しいようなら、例えば、周遊バスや高速ニセコ号などで乗降自由エリアを設けるなど利便性を高めてほしい。特に夏場はアンスプリから歩いて宿まで来られる方もいます。	
ニコットバスの台数増と利便性向上が必要だと感じる。アプリで予約や空き状況確認ができる（日本語だけではなく外国語対応も）、運行時間を延ばす、など必要。町民料金と旅行者料金を分けることも検討できるのではないか。	
湯めぐり用のバスがついに廃止となつたが、利用客の有無に関わらず、そういった公共交通機関が「ある」と「ない」とでは全く違う。特に、長期滞在をする観光客（車を持たない高齢者等）は公共交通機関の有無で滞在可能か判断されるケースがある。	域内事業者の従業員不足 ※今夏はニセコ↔新千歳、札幌間のバス運行あり（宿泊税活用なし）
夜の遅い便と早朝の便の充実化をお願いしたい。	
周遊バスとにことうバスの住み分けはできているか。相変わらず外国人の利用が多く、もしかしたら代理予約をしている人がいるかもしれない。料金を安くするよりも増便を最優先にしてほしい。外国人の富裕層からすると、料金が数百円しか変わらないことは誤差の範囲でしかない。	
バスだけでは全エリアを補えないためタクシーやオンデマンドバスなど様々な移動手段の検討が必要である。	
観光客はニセコ町・俱知安町の違いは分からぬ。交通の充実にあたっては、ニセコ町・俱知安町両町で連携しないと、観光客の流动に繋がらない。	
そもそもの大前提として、俱知安町とニセコ町の交通が分断されていることは問題。	
観光の方はニセコ町ではなく、ニセコエリアとしてこの場所を認識しています。ニセコエリアでもっと繋がりを深めることで、ニセコ町にも観光人口が増えると思います。交通などもっと連携できることはないのでしょうか。	ニセコ町・俱知安町広域の枠組みの活用、検討が必要
ヒラフからニセコ町内に通う従業員がいるので、ニセコヒラフ間の交通が増えると嬉しい。ユナイテッドとナイトバスが合体したことで希望を持ったが、大好評過ぎて始点からすでに満員状態となってしまい、結局ヒラフにいるスタッフが送迎をするしかない状態。	
スキー場もしくは俱知安駅に行けるバスのバス停が近くにあるとありがたい。	
以前はあった函館方面に行く9時45分発の汽車が闇越止まりになり、始発の6時38分の汽車を迷すと6時間後の12時52分まで汽車がありません。始発に乗ろうとしても宿が1番忙しい時間帯なので送迎できないし、タクシーも予約できない。9時台の汽車復活か、長万部行きのバスがあれば、お昼に函館に着き函館観光して夕方以降的新幹線で東京方面に帰る事も可能だし、函館で1泊観光するなどできます。今のままだとニセコを観光して翌日に函館観光する言う観光客の移動が途切れていますので、9時台の長万部行きバスを要望します。	
新千歳空港から来るスキーバスの停車場が道道343号線上の近くにありません。OACロッジの前にあるニセコバスの東山バス停で、空港行きのスキーバスが乗降できるバス停を作つて欲しいです。	事業者判断によるところ
ニセコビレッジ駐車場の拡充	
タクシーの前日予約を可能にして欲しい。ニセコ駅早朝時間に早朝にしか予約が出来ないのは、お客様は心配される。昨シーズンに一件、天候問題でタクシーの予約が取れなかったため私が送った。朝食の時間が重なり大変だった。	
冬期間は留寿都スキー場までのバスの便を増やしてほしい。	
タクシーを増やして欲しい。（特区などをを利用して冬の需要に対応希望）	
日本版ライドシェアをやっても良いのではないか。知らない土地に来た観光客はバスよりタクシーのほうが使いやすいのではないか。	北海道、国との調整が必要 (歩道の整備については要望等も提出しているところ)
東山エリアをはじめとして、歩道の整備に充当してほしい。	

【参考とするご意見】

いただいたご意見	ポイント
タクシーやにことうバスがなかなか捕まらないでの、送迎対応を実施している。	
運転手不足とのことで周遊バスの最終便や夏期のニセコ線や新千歳線が取り止めになりました。ニセコバスさんで集められないのなら、宿泊税を使ってそれなりの賃金を出して観光協会で運転手さんを集め、取り止めになった便を復活させて欲しいです。	
事前に到着／出発時間を把握するようにしていけるため、基本的にはスキー場への送迎のみだが、今冬は駅までの送迎も必要になるのではないかと感じている。	—
昆布エリアの交通の充実が必要。送迎も実施しているが、対応時間外の始発に乗りたいお客様がタクシーを捕まえられないケースが数件ある。	
周遊バスの夏季実証について、どういう方が利用されたのか。利用者の中には短期ワーカーもいるのではないか。無料で乗車できるので、せめてアンケートに協力してもらうなど、何かしらの方法で統計を取って目的と相違がないか確認してほしい。	
自施設の状況について、タクシーなどでは間に合わないため今年はハイエースを4台稼働する予定である。	

夏の誘客に向けて

【実施済・進行中】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等	宿泊税の活用
夏に営業しているのかどうかがわからないところもあり、案内するときに困ることもあるので、調べやすい形での情報発信がなされれば、利用者・事業者双方にメリットがあるのではないか。	<p>デジタルグルメガイドマップでの情報の充実 <u><実績></u> マップPV数：35,944 スポットPV数：30,106 マップPV/日：98.5PV/日 ・ニセコグルメスタンプラリーの実施：10月15日～11月30日 参加消費者：695人 参加店：40店 ・AI北海×夏のニセコ3+6景デジタルスタンプラリーの実施 8月1日～10月6日参加者数：426人</p>	—
夏の魅力もたくさんあると思う一方で、夏に営業していないところも多いので、もう少し夏の入りにつながるような施策に使えるとよい。	じゃらん北海道、ぐうたび北海道、るるぶ（全国版）など旅行雑誌記事・広告掲載、メディア取材・番組制作誘致・対応、商談会・北海道フェアでの情報発信、ニセコ町事業者から学ぶ教育旅行・MICEなどの観察コンテンツ創出→発信・受入れ対応を実施。 <u>電動トウクトゥクの貸し出し（域内交通にも寄与）</u>	—
夏のニセコもすごい魅力的で、周囲の事業者も口をそろえて夏を何とかしたいといっているが、空港や札幌からのアクセスに課題があるとともに、閉まっている飲食店も一定数いるというのが現状。特定の事業者が頑張っても効果は小さいので、地域として夏も頑張ろうという方向性に向かうといいのではないか。	<u>ニセコアンヌプリ重ね捺しスタンプラリーの実施（アンヌプリエリアの事業者主導）</u> <u>※町の補助金も活用</u>	—
今のニセコの夏は、道の駅からミルク工房だけに観光客の流れを感じる。この流れを分散する事は出来ないのか？以前は、パノラマラインの利用から集客が有ったが、今年は、特に少なく感じた。道の駅、ミルク工房以外にも分散できないものか？		
ニセコにはせっかくいい温泉があるので、登別などの周辺の温泉と比較して、PRが不足していると感じる。	観光協会で温泉に関するLPの開設やインフルエンサーマーケティングを実施	—
森林公園を活用して何かできないか。 （昔、ライオンアンドベンチャーでガイド付き散歩を行っていた）	アンヌプリ森林公園で乗用草刈機を導入し、景観保持に努める。また、森林保護の育成の観点からNIS-ECOによる取組（子どもたちによる植樹と木育など）を実施。	—

【役場・観光協会で今後検討】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等
新たなコンテンツを創出したいが手詰まり状態にある事業者に対して、宿泊税を使ってほしい。また、単発にならないようにするとともに、既存事業者に恩恵があるようなPRもお願いしたい。	
小振りなコンテンツをいくら増やしても無意味になります。とは言え、いきなり大きな事は難しいので、スマールスタートである事自体は良いのですが、前提として①今後大きなコンテンツに成長できるポテンシャルが最初からある事、②単日、短期のものではなく、長期間の効果が期待できるか、長期間実施できるものである事、③町内全域を周遊し、多くの受益者が生まれる企画である事などが求められると思います。	
イベントをもっと創出して夏の誘客をというが、ニセコ町はすでにイベントがかなり多い。そのため新規のイベントを企画するのではなく、既存のイベントを活用していくべき。	<u>新規・既存問わずイベント等に対する支援を実施予定。</u>
イベントのほとんどが日帰り客向けであり、むしろ宿泊につながるイベントが少ないと、宿泊税をイベントに使うのなら、宿泊に繋がるようなイベントに宿泊税を使うほうがよいのではないか。	
自然を活用した様々なイベントが年々増えてきているのを実感しています。これからも引き続き支援・強化をお願い致します。	
冬はユナイテッドがあってニセコエリアとしての連携が感じられるが、夏は連携を全く感じない。冬の連携と同じような枠組で夏も盛り上げていくべきではないか。	
ニセコの夏が課題というのは、長い間言われてきたのに、何も変わっていない。これまでのやり方では何も変わらないので、抜本的な改革が必要だ。	ニセコ観光圏、NPBの枠組みを用いた連携促進を検討していく。
二重価格についてはローカルと観光客のすみ分けがきちんとできるよう、行政主導で行ってほしい。	
沖縄のジャングリアには価格が異なっています。外国人、国内居住価格、温泉など、同じ料金で外国人が多いのが気になります。バランスとして、日本人が気持ちよく入り、少し外国人が減った方が、観光のバランスとして適正なのかと思います。	
地域応援地域通貨などを発行し、ユーモなどの活用？期限ないで余ったお金は通貨は町民に還元され、地域を応援する意識で割引を受けられる。夏の町内の宿泊割引券の発行なども、地域通貨の仕組みでは可能なのかおもいます。 例) 温泉 ツーリスト1000円、地域応援通過800円、町民500円 or 無料	<u>観光協会とも連携し、検討を進めていく。</u>
夏の観光は、ニセコバブル報道でかなりの冷え込みを感じます。すぐに改善できるとは思えませんが、誤解を解きニセコに来て楽しいと思えることを発信することが大切だと思います。	
俱知安観光協会などのように、ニセコリゾート観光協会でもYoutubeチャンネルを作成するなど、SNSを使った情報発信に力を入れるべき。また、ニュースレターを新しく始めるべき。	

【現時点ですぐの実現が難しい（事業者の協力、関係各所との調整が必要）】

いただいたご意見	ポイント
夏の誘客でバスのガイドツアー（五色やお花畠など）を継続的に作ってはどうか。	域内事業者の従業員不足
夏の誘客といつも、結局は交通インフラの充実が必要で、夏に飲食をした後のアシの充実が必要である。	
夏観光を盛り上げるための、自転車道路の整備、マウンテンバイクコース、有島公園に大きな公園を作る等夏のアクティビティへの投資に使ってほしい。	
スキー場で暴風雪等によりゴンドラの運行ができないときのコンテンツがあるとよい。例えば温水プールの整備はできないのか。世界のリゾートではだいたい整備されている。	
温水プール以外にも、森林公園や東啓園で遊んだり、BBQができるような、子どもも含めて遊ぶことのできる無料かつ複合的な施設の充実が必要。	
自然（山・川・沼）のコンテンツを推しているわりには、それをワンストップで発信できる拠点がない。人と情報があつまる仕組みが必要。たとえば、旭岳・黒岳・糠平湖のビジターセンターのようなネイチャーセンターに、カフェやレンタルバイクやクライミングウォールを併設する、当日その場で予約できる自然ガイドのツアーを開催する、など。	大規模投資（サッカー場、プール等）に当たっては、そもそも場所がないといった課題あり。 （アンヌプリ森林公園の活用等は少しづつ進めていく予定） 域内事業者の投資等に対する補助の検討は可能？
新しい観光スポットの案として、ハードルの低い観光農場はいかがでしょうか？畑には、無断で写真を撮る為に入ってしまう観光客が後を絶ちません。道外からくれば北海道の畑はとても魅力的な為、気持ちがわります。そこで入って写真撮影などが出来る観光農場を作る。最近の観光客はフォトスポットを探している人が多くいらっしゃるので、じゃがいも畑、とうもろこし畑、小麦畑をフォトスポットとして作る案です。農家の方には大変失礼な内容になりますが、逆に畑に入ってしまうと農作物に悪い影響がある事を喚起する機会も作れるのではないかと思います。場所としては、農作放棄地などをを利用して、引退された農家さんに指導者として迎え、農業を目指す若者を誘致などが出来ればより良いと思います。実際にこの案をするには、費用と人材が必要だと思いますが、ご検討宜しくお願い致します。	
本州が暑すぎることもあり、合宿需要も見越して、町内にサッカー場があるといいのではないか。	
B B Q の需要が高いが、宿泊客が優先であるため日帰り客の対応が難しい。B B Q を利用できる施設の新設に宿泊税を使ってほしい。また、羊蹄山麓や後志地域といった広域で食や手作り品のマルシェを実施してはどうか。	

【参考とするご意見】

いただいたご意見	ポイント
夏の集客対策として何かするのであれば、コロナ禍で実施したニセコ割みたいなものをやってはどうか。	
ネガティブ情報払拭の必要はありません。せっかくの知名度を活用しての、反転PRを行うべきです。	
夏季の観光の方は、ニセコの道の駅や高橋牧場を拠点に動く事が多いと感じます。お客さまから伺いましたが、道の駅にはデジタルやパンフレットの案内もありますが、探しにくく感じるそうです。壮瞥の道の駅のように、どこにどんなものがあるのかマップで示すなど、パッと見て分かりやすく楽しい何かがあるといいなあと感じます。	—
ニセコ＝高い、外人が年中たくさんいるという誤った認識をなくす販促やキャンペーンを行う→全国的でやる観光の展示会などで発信するのも大事だが、それは本当に興味のある人しか知る事が出来ないので、TVのCMやSNSでの発信、ニセコ割のような来たくなるようなプロモーションが出来ないか、と思います	
宿泊税は導入するけれども、税額見合い分割引になるクーポンを配布するといった対策が必要ではないか。	
今年の夏の入込は例年に比べて特に落ちており、夏の観光客は特に日本人である。そのため、日本人のニセコ離れを防ぐためにも夏の観光に力を入れてほしい。	

観光人材育成・観光協会組織強化

【実施済・進行中】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等	宿泊税の活用
昨シーズンの冬も今年のGWも観光客は減少傾向にある。また、どこへ行っても、「ニセコから来た」と言えば99%の確率で「ラーメンが一杯3,000円なんでしょう?」と聞かれる。偏った報道はすぐに払拭することはできないが、実情を話せばみんな分かってくれる。大々的に指摘してしまうとハレーションが大きいので、町で実施しているカレーライス物価指数のようなことをコツコツやっていくしかないと思う。GW~8月までマイナスで、ある意味コロナ禍にまで戻ったような感覚。	インフルエンサーを活用したPR動画作成の実施	—
	カレーライス物価発信の継続	—
インバウンド客に対して、夏のPRを実施するのもありではないか。夏にゴンドラを4つ動かしているところもかなり珍しいのではと思う。	インバウンドを含めたプロモーションとして、総花的な発信ではなく、ニセコ町らしいコンテンツ創出一発信（メディア・SNS）といったサイクルを企図して取り組んでいる。（例：温泉／湯めぐりバス、星空、滞在・域内周遊（スタンプラリー、ニセココレクション、電動トゥクトゥク、レンタル自転車）、ヨガ・ウェルネス・森林、ニセコトレイン・ライドツアーなど。）	—
夏のコンテンツ（マウンテンバイク・涼しさ・トレイルランニング・パワースポットなど）はたくさんあるので、日帰りにならないストーリーを組んでPRし、単発ではなく継続した活動を続けた方がいい。		—
夏場の観光における事業者等のネットワークの構築がわかりやすく見える化していただけるとありがたい。	宿泊税使途意見交換会、観光カフェ等事業者同士の横のつながりにも資する機会を今後も継続する。	—

【役場・観光協会で今後検討】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等
観光協会が人手不足ということであれば、町内事業者を巻き込む形での企画会議を立ち上げるべきではないか。	
ニセコ観光協会の組織改革	
観光協会の事務局長を、期限付きの出向の方などでは無く、高い報酬額で公募して優秀な人材を確保するために使って欲しい。	観光協会の体制強化を今後進めていく。
観光協会組織強化は急務。現行のDMOともDMCともつかないポジションを維持するより、明確なDMC業務を遂行する組織となって貰い、それとは別にDMOがあった方が良い気がします。ニセコリゾート観光協会を(一社)化させてDMOとして分化させ、DMCの部門は別の名称で残すなりして、DMC業務に特化させ、営利を追求した方が良いのではないですか。	
イベントの周知が町外に行き渡っていないと感じるため、そこのソフト事業に宿泊税を充ててはどうか。	
イベント情報がニセコ町ホームページを見ても全くわからない。今週のイベントはこれ、とすぐに見れるものがあると良い。本当は観光協会でまとめて情報を公開できるのが理想なので、そこへの支援を実施してほしい。	
観光協会で、B to Bの取組も行うべきではないか。	ニセコ町を先進地とした視察の誘致・受入れを積極的に実施（ニセコ町内宿泊前提）
観光DX化については、(5)であげたニコットバスのアプリ予約が必要。	現在Web予約の実施を検討中。
宿泊者から徵収するので宿泊者にメリットがあるべき。観光人材育成やDX化により、サービスレベルを向上できるようにする。	町内事業者のDX化に対する補助を創設予定。

【現時点ですぐの実現が難しい（事業者の協力、関係各所との調整が必要）】

いただいたご意見	ポイント
宿泊税をデジタルマーケティングに使ってニセコエリア全体の情報発信ができるようにして欲しい。ユナイテッドでは、これまでチケット販売目的でのPRをしてきたがスキー場だけの取組には限界がある。NPBなどの組織をニセコエリアとして一本化し、連携していければ一番良いと思う。	ニセコ町・俱知安町広域の枠組みの活用、検討が必要。 満足度調査に関して、ウェブ回答への促進をR7年度より観光圏（3町）で取組中。
夏は冬に比べてかなり安い価格設定の宿泊施設も多いが、事業者単体で堂々とPRするのは難しいので、何かの企画と絡めることはできればよいのではないか。	【再掲】インバウンドを含めたプロモーションとして、絶花的な発信ではなく、ニセコ町らしいコンテンツ創出一発信（メディア・SNS）といったサイクルを企図して取り組んでいる。（例：温泉/湯めぐりバス、星空、滞在・域内周遊（スタンプラリー、ニセココレクション、電動トウクトゥク、レンタル自転車）、ヨガ・ウェルネス・森林、ニセコトレイン・ライドツアーなど。）

【参考とするご意見】

いただいたご意見	ポイント
GW～8月までマイナスで、ある意味コロナ禍にまで戻ったような感覚。	
素泊まり限定ということもあってか、むしろもっと高くすべきという風に言われるくらいで、特段影響は感じていない。	
GW・夏ともに前年比マイナスなので、少なからず影響があるのではないか。雪質の変化等とあわせて、海外にも情報として伝わっているという感覚。	
春～秋にかけて、例年から2～3割減となっていて、近隣の事業者からも同様な話を聞く。一方で、「ニセコに足を運んでみたらそんなに高くなかった」というお声も聞くことがある。	
報道で面白おかしくフィーチャーされることもあり、リピーターにまでも影響が生じている。	
入込は減少しているが、それはあくまで域内の宿泊施設が提供するサービスの向上によるパイの奪い合いによるもので、報道の影響によるものではないと考えている。	
確かに夏は前年比1～2割程度マイナスだが、むしろ昨年がコロナ明けのリバウンドで宿泊者が多かったのが、今年は落ち着いたことによるものと考えていて、報道の影響はあまりないと考えている。今年は昨年比で落ち込むものと考えていたので、予め単価を高めに設定しており、結果として夏の営業利益は昨年比でプラスとなっている。	—
食が高い（ニセコ価格）と言っている人はほぼニセコに来ない人が、一方的な情報だけで言っているだけ。来ている人はきちんと調べてきている。そのための対応は無くてもいいのではないか。	
地域環境など、取り組むべき課題を研究したい人に、それが仕事になるようなプロジェクト性な仕事の創造なども面白いなと思います。	
観光人材育成について、外国人やカスハラ相手にNoと言える、スタッフを守る教育をしたほうがいいと思う。	
一般市民に対して、観光に特化した実践的な英語教育に町が取り組む必要があると感じる。英語を話せない町民の方が話す片言の言葉が、非常に失礼で傲慢に聞こえることがよくある。また、英語が話せないために観光関係の仕事を最初からあきらめている人もいる。観光の町をうたうのであれば、挨拶、サービス業の基本的なやり取り、数字など、最低限の英語を町として市民に身に着けてもらう必要があるのでは。	
観光人材育成も大事だが、そんな教育もする人材もいないし、それ以前にとにかく人手不足。横丹町のように、地域協力隊をもっと増やし、基準を作り一般企業にも派遣出来る仕組みがあると面白い。	
ニセコ町を案内できるガイドを育成したほうが良い。	

景観・環境保全、オーバーツーリズム等

【実施済・進行中】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等	宿泊税の活用
SDGs未来都市をはじめ、SDGsに関する取組をしていると思うが、住んでいる人にそれがあまり届いていないと感じている。		
暮らしていても知らない情報がたくさんあるので、町の施策のPRをもっと充実させてほしい。		
何かイベントをする時には、該当事業者に連絡がほしい。連絡がある場合とない場合があり、こんなことをしているのかと驚くことが多いです。商工会主催のものは、全て連絡が来ているので安心します。	商工会、観光協会とも連携し、メーリングリストの活用による情報発信を開始	一
観光協会、商工会、役場等、様々なイベントが行われているが、お客さま目線で考えると、あまり周知できていないと感じる。ニセコ町で行われているイベントや、お店、お宿紹介など一本化してSNSなどで発信できないでしょうか。コレをみればニセコの事、ニセコの今が分かるよっていうものがあると便利だと思うのですが。そこには、交通のことなど、来た人が便利に使えるものも加わるとなお良いと思う。		
ニセコ町のように事業者から意見や使途を聞く機会の設定はこれからも是非設けていただきたい。	観光カフェを今後も継続していくとともに、観光協会のDMO登録に向けた体制整備の中で検討を行う（WGチームなど）。特に夏のプロモーションに向けた企画会議が必要（ニセコ町らしいコンテンツ創出・動画撮影・SNS発信など）。	一
宿泊施設、飲食店等の事業者同士の横のつながりの充実は重要で、人手不足をはじめとして同じ悩みを抱えていると思うので、そうした機会の創出をお願いしたい。	テーマ例：星空、ベット、チーズ、お酒、家族連れが楽しい、森・ウェルネス、環境をよくするツアー、アート・手作りクラフト、クリスマス・イルミネーション、トレイン・ライド・フットバス、鉄道遺産、スイーツ、野菜BBQ・・・）	一
事業者からの意見の聞き取りについて、インターネットアンケートのようなものも検討してもらえれば、なかなか参加できない事業者や大勢の前で意見を言いづらい事業者からも意見が吸い上げられるのではないか。	9月以降実施予定	一

【役場・観光協会で今後検討】

いただいたご意見	町、観光協会の取組等
いろいろと値上がりしていく中で、日本人が泊まりにくくなるようなことにならないようにすべきだし、値上がりプラス宿泊税となると敬遠されることになる気がするので、宿泊者にわかりやすい形で使途をきちんとお知らせしてほしい。	使途については、今後実績資料をお示しする際に上記留意する。
宿泊者の理解を得るためにも、宿泊税が何に使われているのが目に見えてわかるようにしてほしい。説明にあたっては、紙媒体が一番説明しやすい。	
使途検討にあたっては、ターゲットが明確になっているほうが意見も出しやすいので、ニセコ町としての展望を示すべき。	町の展望については、ニセコ町観光振興ビジョンの中間年にあることから、見せ方含め検討する。
宿泊者の理解を得る観点でいえば、道の駅の再整備に活用されるとわかりやすい。	道の駅の再整備のスケジュールが現時点では不確定だが、スケジュール如何では活用も検討する。
ある程度の資金がある会社や手を挙げた会社のみが恩恵を受けるだけで、宿泊税を払っている施設の全てに還元されない事はどうかと思います。それであれば各施設で引いているwifiではなく、地域で使える「ニセコwifi」みたいなニセコ町全体で使えるような設備があれば感じる。例えば、道の駅から昆布地区やアンヌプリスキーフィールド・ニセコビレッジ間のニセコ町内で共通で使えるwifiの整備とか。	Wi-Fiについては、エリアレベルでの設置に向けて、まずは調査事業を実施することとしたい。
災害時等のバックアップにポータブルがあれば助かります。	観光客の安全安心確保に資するので、防災等についても中長期的に検討を進めることとしたい。
北海道が外国人向けに災害時のパンフレットを作っていたので、運転の仕方や困ったときの対処法といった外国人向けのパンフレットを作成しても良いのではないか。	
ニセコルールに宿泊税を使っても良いのではないか。	ニセコルール等の継続に宿泊税を充当することとしたい。
観光客向けのゴミの分別表があるといいなと思います。今ある分別表よりもう少しシンプルで（細かい仕分けや洗浄はどちらでやるので）英語以外に韓国語、中国語のものがあると尚あります。	
公共の場所にゴミ箱の設置が必要。現状、ニセコ町はヒラフほどひどい状況ではないが、海外からの観光客はゴミ箱がないことに対する不満が強い。	
ごみの分別についても、郷に入っては郷に従えということ、いろいろと啓発活動をしているが、文化の違い等もあり難しさを感じている。日本人／外国人を問わず、マナーが良くない人は良くない。	
冬期のゴミが大変問題となっている。収集小屋からあふれ出てくるほどであり、分別もされていないことが最大の悩みとなっている。ロングステイの観光客だけではなく、外国人スタッフもゴミ分別について理解していない。	ごみ担当部署で現在各種検討を進めているが、中長期的にはごみ問題への充当等も検討したい。
外国人オーナーは、ちゃんと伝えれば理解していただけている。ただ、ゲストについては高い料金も払っていて、細かな分別まで求めるのは難しい。そこは、我々管理会社で対応している。	
ごみの分別についても、ルールが自治体間で異なることもあり、再仕分けに結構な時間を要しているとともに、何かしらのごみ対策も必要だと感じている。	
各地域のゴミステーションへの不法投棄対策に使用して欲しい	
冬のごみステーションの状況がひどく、地域住民、收集運搬会社や役場担当者に負荷がかかっている。カメラの設置等での予防は難しいか。	

【現時点ですぐの実現が難しい（事業者の協力、関係各所との調整が必要）】

いただいたご意見	ポイント
今後整備が進むと、井戸水の渴水も懸念されるので、その維持管理にも宿泊税を充当できなか。	<u>現時点では宿泊税の使途としての優先度は低い</u>
町内のごみ収集事業者が一社だけだと厳しいので、山のほうにもう一社あると嬉しい。	<u>事業者の誘致、立ち上げは現実的ではないため、別の対策に取り組む</u>
定期的に巡回可能な排雪業者の確保等のシステムの発足。	
ごみ問題等に使うべきと考えている。反対する事業者もいるかも知れないが、2月に実施した観光カフェで出たハンカチの作成（＝ペーパータオルを使わない）等に使ってほしい。	<u>ハンカチの作成等よりは、他のごみ対策への取組を優先</u>
環境負荷の低減について、設備の増強しか出でていませんが、使途事業（案）が少なすぎると思います。既存の案はこれで良いとして、もうちょっとソフト面の取り組みを増やしても良いのではないかと思います。例えば、各事業所の取り組み度合いを町独自の採点制度で評価してみたり、採点が難しいにせよからん成果が視認でき、それに応じたバリューや手に入ることでモチベーションを高められるような制度があっても良いと思います。	<u>現時点でソフト事業の創設等は難しいが、ハードに限らない景観・環境保全に資する取組については、今後検討することとしたい</u>
6月の意見交換会でブルの話があったが、観光客目線だけを考えると難しいと思うので、健康増進や体づくりにも焦点を当て、観光客だけでなく町民にも利点のある「冬でも室内で楽しめる建物」を作ってほしい。それこそ基金を積み立てでも。	<u>現時点で観光施設の整備に充当することは難しいが、中長期的にはそうしたハード系のメニューにも活用できるよう検討を進めたい。</u>
ルールやマナーを守らない一部の観光客のために、町民の外国人への感情が悪化していると感じる。警察・保健所・入管などとも協力して、違法民泊、白タク、違法就労、大麻の使用を徹底的になくしてほしい。「何をやってもいい」「どうせばれない」「ばれたらすぐ出社すればいい」という空気が少しづつ大きくなっていると危惧している。町民もある程度把握しているが、どうせ警察や入管は動いてくれないと半ばあきらめている。特に冬期、このまま無法地帯になっていくのでは、という漠然とした不安の払しょくに努めてほしい。	<u>警察はじめとした関係機関との連携を進める</u> <u>※情報等があればお寄せください</u> <u>※観光客の行動変容に繋がる取組は検討を進める</u>
スキー場のリフト券が高すぎて、日本人のお客様から、もうニセコで滑れないと言われています。このままでは、今まで長年宿泊してくれている3分の2のお客様が減少します。ニセコ町に宿泊してくれる日本人に、リフト券の大幅な割引の補助をして欲しいです。このままでは、富裕層向きの宿以外は、つぶれてしまいます。全山共通リフト券が1200円は高額過ぎます。せめて7500円位まで下げて欲しいです。	<u>事業者の判断によるところ</u> <u>※町民割引等の情報は町HPで継続して発信</u>
人手不足については、ワーキングホリデー制度の対象国がもっと増えてくれると助かる。今期は確保できているが。	<u>国との調整が必要</u> <u>（人手不足対策に対するメニューはあり）</u>

【参考とするご意見】

いただいたご意見	ポイント
交通の充実があるが、自家用車で来ることも多い工事関係者には、何のメリットもなくただ宿泊税を徴収されるだけとなる。工事関係者への還元策の検討を強く望む。	
事業者間連携については、お互いの宿の紹介・不足したときのリネンの提供などはしている。	
上下水道などの公共投資の維持管理にある程度の宿泊税の利用も認める。	
冬に関しては心配しかない。お客様が来てくれるのにはありがたいが、泊まられているお客様が早い時間に戻ってきて、どうしたの？の答えが、一時間待ちのリフトには乗りたくないよでした。なのに今夏も建物が次から次と建築されている。ニセコが心配でならない。スキー場開発に資本投資を誘致するようなお金の使い道は無いのだろうか？	
新幹線、高速がつながると、ニセコ町は大きく変化が必要になると思います。新幹線が来たら、仕事が終わってすぐ本州からニセコに来れるとな喜ぶ方も多いです。飛行機よりも楽かもしないとの声もあります。その需要に対応する施策が必要だと思います。	
地域の環境調査研究など、観察をみんなのエビデンスとして記録するAIなどを活用した地域、最先端を見つける仕組みづくりが大切かと思います。	—
実績から効果検証を実施したり、予算の時に目標値を立てて予算化しているのか。コストがかかるものはどうしても後回しになると思うが、費用対効果の高いものに投資をしてほしい。	
町民が宿泊税を導入してよかったと思える使途としてほしい。	
観光客の増加による恩恵を受けていない、負担を強いられているような人たち（地域住民）への施策も必要なのではないか。	
宿泊税を使ってもいいものと使ってはいけないものの分け方が必要なのではないか。	
資料として観光の課題まとめとそれに対する現状についての記載がほしい。	
観光協会と役場の役割の違いがわからぬいため、役割の整理が必要だし、横軸として時間をとって複数年で使途を整理した方がわかりやすいのではないか。	
ある事業者では、自施設への宿泊者のアンケート回答数に応じて、植樹をやる取組を開始しており、「寄付による地域貢献」という文脈を考えている。宿泊税は寄付ではないが、地域貢献に繋がるような使い道だといいのではないか。	
最近の話題となっているクマ対策にも宿泊税を使って良いと思う。	